



# ゆりのきっ子

宇城市立松橋小学校  
学校だより 第6号  
令和7年10月3日  
文責 岡村 誠也

【校訓】かしこく（賢）なかよく（優）たくましく（健）

【教育目標】「夢」実現のために「学び合い・支え合い・高め合う」児童の育成

【教育スローガン】ウェルビーイングな未来へ～夢いっぱい・笑顔いっぱい・元気いっぱい～



## 前期のまとめの大切な時期となりました！

朝夕はやっと秋の気配を感じることができるようになってきました。昼はまだまだ暑いですが彼岸花がきれいに咲き始めているようです。

夏休み明け集会で、前期後半は、「何か一つでもチャレンジしよう！」という話をしました。また、9月上旬に民生委員の方との情報交換会を開きました。その中で、「地域の中で挨拶の声が小さい」というご意見をいただきました。そこで、9月は職員みんなで挨拶についての指導を強化してきました。毎朝、正門で挨拶運動を行っていますが、その成果も少しずつ出てきているように感じています。家庭や地域でもできているときには、しっかり褒めていただき、そうでないときは励ましの言葉をお願いします。

さて、前期の授業日もあと5日となりました。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。体調管理に気を付けて、あと5日、前期のまとめを頑張っていけるよう、御協力をよろしくお願いします。

## 社会科見学旅行

10月2日に、3年生が社会科見学旅行に行ってきました。熊本博物館やプラネタリウム、消防署等で日頃できない学習を行ってきました。大型バス1台と宇城市のマイクロバス2台に分かれて出発し、全員無事に帰ってくることができました。宇城市のマイクロバスを活用させていただき、費用もだいぶ抑えることができました。宇城市の計らいに感謝しています。

朝からの出発式での子供たちの様子は、みんな楽しみで仕方ない様子でした。家から持ってきたお弁当も楽しみにしていたようでした。最近では行事の削減が多く、子供たちの記憶に残る物が少なくなっているように感じますが、こういった同級生のみんなで日頃と違った体験をすることは、楽しかったこともちょっぴり失敗したこともきっと一生の思い出になると思います。

学校生活も大事ですが、社会科見学旅行といった体験からも、日頃学べない沢山の事を学んでほしいと思います。1年生、2年生そして4年生がこれから順次社会科見学旅行に行く予定です。

## 最近気になること

前期ももうすぐ終わろうとしています。学校は運動会の練習も始まり、日々の教育活動も計画的に進んでいます。そのような中で最近気になることが二つあります。

一つ目は、給食の残滓（残し）が多いことです。物価高騰の中、お米の値段も高くなっていますが、宇城市では給食無償化も実施され、とても恵まれた環境だと思います。給食センターからも毎日おいしい給食が届けられています。しかし、残念ながら松橋小の給食の残滓が多いという報告がありました。子供ですから、好き嫌いがあるのは仕方ないかもしれませんが、食べる量に差があることも仕方ない部分があると思います。ただ、給食は栄養バランスも計算され成長期にある子供には大切な食事だと思います。将来の自分の心身の健康のために、栄養バランスのとれた給食をしっかりと食べることの大切さを子供たちに考えて欲しいと強く思いました。また、世界では様々なところで紛争が起こっているため、満足な食事を摂ることのできない子供が沢山います。そういった点から考えても、給食を残すことがいいことなのかしっかり考えて欲しいと思います。食に関して様々な教育方針が各家庭でもあるかと思いますが、給食について一度家庭内で話題にしていだけたらと思います。

二つ目は、忘れ物を届けられるご家庭が多いことです。松橋小の正面玄関には事務室がありますが、その事務室にほぼ毎日児童の忘れ物が届けられます。忘れ物が届けられるたびに事務職員が自分の業務を一旦止めて教室まで持って行っている現状があります。自分の子供や孫に嫌な思いをさせたくないという思いからでしょうが、嫌な思いや経験を取り去ってあげることが本当の愛情でしょうか。忘れ物をしたら自分が困ったことになるという経験をさせることが、長期的な視点からは人生の大切な勉強になるのではないのでしょうか。困った事や失敗を経験することで、「次からは気を付けよう」という学びに繋がると思います。

小学生には「少し、厳しすぎるのではないか」という声も聞こえてきそうですが、中学校を長く経験した私にとって、最近気になることを書かせていただきました。